

お知らせ

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は通常の診療で得られた過去の記録をまとめること
によって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、下記の「問い合わせ先」へご照会くだ
さい。

【研究課題名】

JEPICA 薬剤師部会 多施設共同研究 てんかんセンターにおける抗てんかん発作薬の年次推移

【本院研究責任者】

広島大学病院 薬剤部 吉川 博

【機関の長】

広島大学 理事 田中 純子

【研究代表機関】

静岡てんかん神経医療センター 治験管理室 山本 吉章

【共同研究機関】

国立病院機構長崎医療センター 小児科 本田 涼子

京都大学医学部附属病院 薬剤部 川田 将義

国立精神・神経医療研究センター 薬剤部 藤井 美沙紀

国立精神・神経医療研究センター 薬剤部 千葉 杏子

岡山大学病院 薬剤部 建部 泰尚

【研究目的】

近年、数多くの抗てんかん発作薬が登場しててんかん患者さまの薬物治療は大きく進歩しました。本研究は、2008
年から2022年までに抗てんかん発作薬の使用頻度がどう変化し、その変化が何をもたらしたのかを明らかにし
ます。さらに、日本の診療報酬データベースとてんかん専門病院で抗てんかん発作薬の処方動向が異なるのか比
較します。

【研究方法】

2008年1月から2022年12月までに広島大学病院を受診し、抗てんかん発作薬が処方された患者さまを対象
とします。患者さまの年齢、性別、服用薬剤、検査値、血中濃度を調査させて頂き、年度ごとに抗てんかん発作
薬の処方推移、抗てんかん発作薬以外の併用薬の処方推移、検査値および血中濃度の異常の発生頻度を調査しま
す。収集した情報にパスワードロックをかけ、メールで代表機関に提供します。代表機関にて集約された全機関
のデータを本学でも共有します。

【利用または提供を開始する予定日】

本院の実施許可日以降

【個人情報の取り扱い】

収集した情報は、匿名化しますので患者さまの住所や氏名など個人が特定できる情報が外部に漏れることはありません。この臨床研究の結果を学会や学術雑誌に発表することがありますが、その場合でも患者さまのプライバシーを十分に尊重し、患者さまの個人に関する情報が外部に公表されることは一切ありません。

この研究の対象となる方で「ご自身は研究対象から除外してほしい」と望まれる場合は下記問合せ先までご連絡ください。なお、いかなる場合にも不利益を受けることは一切ありません。

【問合せ先】

〒734 - 8551 広島市南区霞 1-2-3

広島大学病院 薬剤部

電話：082-257-5572 E-mail：hyoshi@hiroshima-u.ac.jp

担当者氏名 吉川 博